

紀州まるごとツアー

7月29日(月) ~ 7月31日(水)

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発 白良浜遊び	石拾い 施設到着	振り返り
2日目	イルカとスイム体験	くじらの博物館見学	夕飯づくり 振り返り
3日目	清掃・施設出発 アドベンチャーワールド散策	アドベンチャーワールド出発 解散	

一日目: おはようございます。この三日間の天候は、満天の青空で、紀州を存分に楽しんでいただけたと思います。尼崎に全体集合を完了させ、和歌山県へ出発しました。道中、クイズ大会やゲームをしながら向かい、グループの親睦を深めました。途中のサービスエリアにて、昼食を済ませたら、初めの行先、“白良浜”に向かいました。白良浜は砂浜が白色で、海はキレイなブルーであり、とても美しいところです。そこで海遊びを楽しみました。少し波が高かったですが、波を被ることも楽しみの一つとして過ごされていました。短い間でしたが、存分に楽しんだ後、次の目的地に向かいました。今日、明日の夜に[ストーンペインティング]をするために、石を見つけに行きました。“志原海岸”には丸い石が沢山転がっているので、お気に入りの石を探しました。大きいものから小さいもの、様々な形をしたものを見つけました。メンバーによっては、十個ほど拾っている方もおられました。そして、施設に到着しました。水着の片付けや入浴の準備を手際よく完了させました。入浴を済ませ、夕食を買いに近くのスーパーへ向かいました。好きな食べ物を購入出来るので、意気揚々と買い物をされていました。夕食後は振り返り、[ストーンペインティング]を行いました。一日の一番思い出に残っているシーンを絵に表しました。そして、それを皆の前で発表をしました。メンバーによって着眼点が異なるので、発表を楽しみに聞いておられました。明日も沢山の楽しみが待っています。大いに楽しみましょう!!



二日目: 朝早くから元気な声と姿が伺えました。朝食は、キャンプ定番飯、[パックサンド]です。メンバーの大半は作り方を知っているのので、皆で話し合いながら作り、美味しく召し上がっておられました。朝食後は出発の準備です。今日は遠足として、太地町に行き、イルカと一緒に泳ぐ体験と、くじらの博物館へ行きます。まずは[ドルフィンベイス]へ向かいました。ウェットスーツに着替え、海に向かうと四頭のイルカが迎えてくれました。間近に見るイルカはなかなかの大きさに驚いている方もおられましたが、イルカが優しく接してくれたおかげで、お互いの距離が縮まり、徐々に様々なアクティビティを体験することが出来ました。特にイルカの背びれに捕まって一緒に泳ぐ時は、誰しも楽しく、幸せそうでした。至福の時はあっという間に過ぎてしまい、大満足で終えました。昼食を挟み、午後は“くじらの博物館”に行きました。くじらの標本や剥製があり、迫力に歓声が上がっていました。また、くじらショーも観る事が出来ました。時間いっぱいかけて楽しむことが出来ました。一日楽しみ続けたので、帰る頃には疲れはてて、休まれている方がほとんどでした。夕飯は各グループ内容の違うものをつくり、ピュツフェ形式でいただきました。今回のメンバーは沢山食べる方が多く、沢山作った料理を残すことなく完食されました。片付けも協力されて、早めに終わらせる事が出来ました。入浴を済ませ、昨日も行った振り返りを行いました。今日は様々な体験をしたので、思い出も三者三様な内容でした。感じた事も異なっていたので、一人一人の振り返り発表はとても興味深いものでした。布団に入る前から眠そうにされており、消灯後、速やかに就寝されました。



三日目： おはようございます！！朝から片付けや荷物の整理、移動で忙しいです。朝食は食堂でいただきましたので、やっと一息をつくことが出来ました。食後はラストスパートとして、干しているものを回収し、使用した場所の清掃をしました。予定時間より少し遅れてしまったので、どこかで取り戻そうと話しました。施設の皆さんに御礼を伝え、施設を出発しました。潮岬に寄り道をし、今回のメインプログラムの一つである、“アドベンチャーワールド”に到着しました。ゲートに近付くと、楽しそうな雰囲気が滲み出ており、ワクワクが止まりません。チケットをもらって、ゲートをくぐり、どこから行こうか、早速話し合いました。まずは、アドベンチャーワールドといえば、パンダでしょう。ほとんどのグループがパンダを見に行きました。無邪気に寝転がったり、笹を食べたりしている姿に心から癒されたと思います。他にもサファリコーナーにて、様々な動物と触れ合いました。お小遣いを持参されているので、お土産を購入されたり、甘いものを買って食べたり、アトラクションに乗って楽しみました。イルカのショーでは、人とイルカの繋がりに感動し、アニマルショーでは、芸達者な動物達に拍手を送りました。帰る頃には、「もっとうたい！！」と仰るほど、堪能されました。帰りの車内は、これまでの疲れが一気に出てきたのでしょうか。ぐっすりと休まれており、きっと今回の楽しい経験を思い出されていると思います。



<キャンプ総括>

今年の【紀州まるごとツアー】は、これまでのプログラムとは異なり、アドベンチャーワールドに行きました。より一層キャンプ感が減っている事が否めませんが、だからこそ普段の行いやグループでの生活にキャンプの要素を強く取り入れました。楽しいことが続くと、どうしても気持ちが浮かれてしまい、判断が甘くなったり、心ない言葉や態度が出てしまったりします。今回も浮かれてしまった結果、笑ってごまかそうしたり、誰かのせいになろうとしたりする場面がありました。楽しいプログラムが目白押しな時ほど、脇をしっかり締めて、対応していきます。楽しいことは【ルールや約束】を守ることで成り立ちますが、それ以上に『一人ではつくり出すことが出来ない』をしっかりと伝えていきます。皆がいるから大きな思い出になります。それがキャンプの醍醐味であり、一番大切なことであります。楽しい場所、内容をしてその想いを忘れないよう心掛けて企画して、実施してまいります。

(竹中 哲郎)